

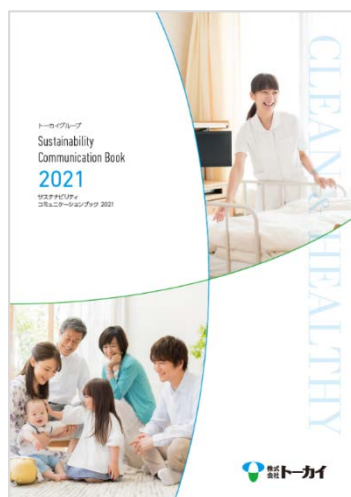
2022 年 2 月 25 日
株式会社 トーカイ
(東証一部:9729)

トーカイグループ サステナビリティコミュニケーションブック 発行のお知らせ

株式会社トーカイ（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長：小野木孝二、以下「当社」）は、当社グループの事業とサステナビリティについてステークホルダーの皆さまに広く知っていただくことを目的に、「トーカイグループ サステナビリティコミュニケーションブック」を発行いたしましたので、お知らせいたします。

本コミュニケーションブックは、創業以来、レンタルビジネスを中心とした事業展開を通じて、循環型社会の実現を目指してきた当社グループの事業活動や、持続可能な社会の実現に向けた今後の取り組みなどについて紹介しています。

当社グループは、本コミュニケーションブックを通じて、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションをより一層活性化させるとともに、引き続き持続可能な社会の実現に貢献する企業としてさらなる企業価値向上に努めてまいります。



< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社トーカイ 経営企画本部 経営企画部 経営企画・IR 課 (TEL:058-263-5111)

以上

トーカイグループ

Sustainability Communication Book

2021

サステナビリティ
コミュニケーションブック 2021



本社
〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地
TEL:058-263-5111 (代表)
<https://www.tokai-corp.com>



CLEAN & HEALTHY

持続可能な社会の実現のために トーカイグループができること



代表取締役社長

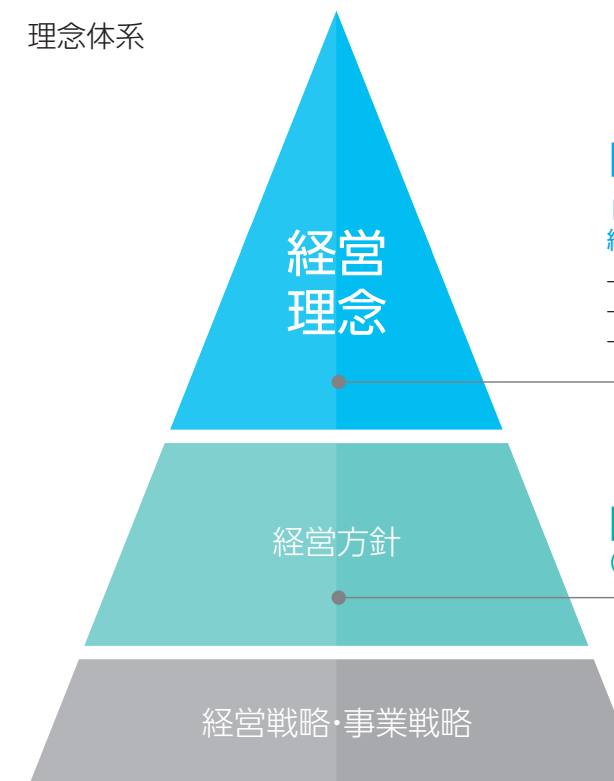
小野木 孝二

トーカイグループは、創業当初よりレンタルビジネスを中心とする事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでまいりました。また、現在では「清潔と健康」をテーマとして、「医療」「介護」「環境」の分野で幅広い事業を展開しており、我が国における少子高齢化の進行や衛生管理意識の高まりなどを背景とする、さまざまな社会課題に向き合うことで成長を続けてきました。

このようなトーカイグループの事業活動の根幹の部分は、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の考え方に合致するものだと考えています。時代の要請によって、私たちトーカイグループにとって「サステナビリティ」という観点が欠かせないものであるということを改めて認識することができた一方、今後、より一層の取り組み推進につなげていくことが企業としての責務であるとも強く感じています。

これからも、お客様をはじめとするさまざまなステークホルダーから信頼され、必要とされる企業となるべく企業価値の向上により一層努めるとともに、引き続き「医療」「介護」「環境」分野における事業活動を通じて、持続可能な成長と社会の発展に貢献してまいります。

理念体系



トーカイ憲章

トーカイは、「人」と「地球」の「清潔と健康」を使命とし、縁ある全ての人々の幸せを実現する為、ここに宣言します。

- 一、私たちは、常に「感謝」の気持ちを込めて「お客様第一」に徹します。
- 一、私たちは、「衛生管理のプロ」として「安心と安全」をお届けします。
- 一、私たちは、常に挑戦者として、変革を進め互いに成長を図ります。

トーカイグループ3つの宣言 (2020年策定)

トーカイグループ3つの宣言

01

創業以来の基幹事業であるレンタルビジネスを通じて、廃棄物の削減、循環型社会の実現に貢献します。

02

超高齢社会における医療介護の健全な発展に貢献します。

03

グループ全従業員が笑顔で、たくさんのありがとうございましたに囲まれた会社を目指します。

Contents

01. TOP MESSAGE

02. 理念体系

03. トーカイグループのあゆみ

05. 循環型社会に貢献するレンタルビジネス

07. 商品を再生する工程における環境負荷低減の取り組み

09. トーカイグループのマテリアリティとSDGsに対する主な取り組み

11. 環境分野に関する取り組み

12. 健康分野に関する取り組み

13. 社会分野に関する取り組み

14. 取り組みの数値目標／サステナビリティハイライト

トーカイグループのあゆみ

～社会が必要とするサービスを環境負荷の低い「レンタル」で提供～

1955年に岐阜県岐阜市で貸布団業として創業して以来、さまざまな商品・アイテムを「レンタル」で提供することで成長を続けてきたトーカイグループ。現在は「清潔と健康」というテーマを軸に事業領域を拡大し、「ヘルスケア」と「環境」の分野で幅広くお客様のニーズに応えるとともに、SDGsが掲げる「持続可能な社会の実現」への貢献を目指して、歩み続けています。

トーカイは「ふとんのレンタル」からはじまりました



1955年

戦後の復興期に高度成長の基盤を支えた建設現場の作業員宿舎向けに布団を貸し出す事業を開始(当時:東海綿業株式会社)



1962年

病院で使われる基準寝具の外部委託が認められたことを受け、**病院用寝具のレンタル**事業に参入



1968年

レンタルと洗濯工場のノウハウを活かして、**マットやモップなどダストコントロール商品のレンタル**事業を開始



1996年

2000年の介護保険制度開始に先駆けて、在宅向けの**介護用品レンタル**事業を本格展開



2003年

繰り返し使用できる**リターナブルボトル**を採用した**宅配水(ウォーターサーバーのレンタル)**事業に参入



2005年

手術用リネンのリユースシステム「ネクサージ」を業界に先駆けて事業化

1955年
創業

1975年

商号を(株)トーカイに変更

1988年

名古屋証券取引所市場第二部へ上場

1985年

建物の清掃管理事業を開始



1987年

病院給食事業を開始



1995年

調剤薬局事業を開始



2012年

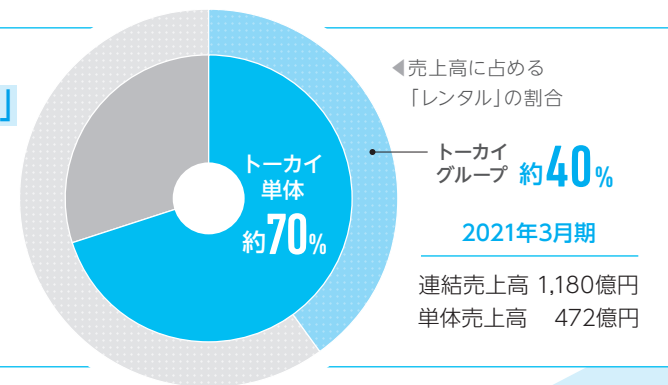
太陽光事業を開始



2020年
トーカイグループ
3つの宣言
策定

トーカイの売上の約7割が「レンタル」

「清潔と健康」をテーマに幅広いサービスを提供するトーカイグループですが、創業以来の基幹事業である「レンタル」の形で提供されるサービスの売上高は、トーカイグループ全体の約40%、トーカイ単体でみると実に70%以上を占めています。

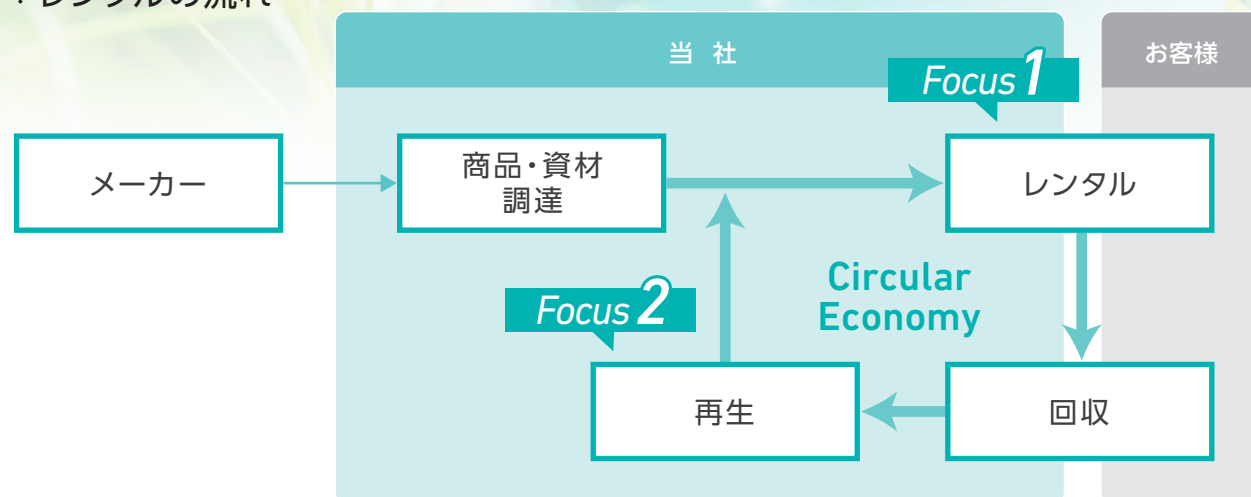


持続的な成長を実現できる新たなステージへ

循環型社会に貢献する レンタルシステム

限られた資源を有効に活用する「レンタル」のビジネスモデル。
トーカイグループはさまざまな商品・アイテムを、地球環境に優しい
「レンタル」で提供することで、循環型社会の実現に貢献しています。

🔗 レンタルの流れ



使い捨てではなく、繰り返し再生して使用するレンタルは廃棄物が少ない

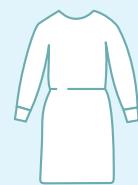
使い捨て商品が使われた場合と比較すると、
年間これだけの廃棄物削減に貢献しています。
(2021年3月期売上実績に基づく自社推計)

リースキン



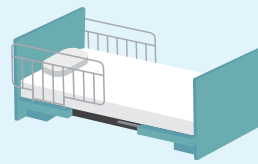
モップ
約69,000,000枚
※リースキンチェーン全体

ネクサージ



ガウン
約1,000,000枚

介護用品レンタル



電動ベッド
約40,000台

Focus 1

トーカイグループの主なレンタル事業

リネンサプライ

医療機関で使用するシーツなどのリネン類や白衣、宿泊施設で使用するタオルや浴衣などを、当社がまとめて購入し、定期的に納品・回収して提供するサービスを「リネンサプライ」といいます。回収したリネン類は自社の工場ですべて洗濯し、きれいに再生して再び病院やホテルなどお客様のもとへお届けしています。



介護用品レンタル

車いすや電動ベッドなど、ご高齢者の在宅生活を支える介護用品を、レンタルで提供しています。レンタル期間中は安心してご利用いただけるよう定期的なメンテナンスを実施し、身体状況や住環境の変化に応じていつでも最適な商品に変更することが可能です。回収した介護用品は、洗浄・メンテナンス・消毒を行いきれいに再生し、新たなご利用者のもとへお届けします。



リースキン

自社ブランド「リースキン」のマットやモップなどのダストコントロール商品を、ご家庭や法人のお客様にレンタルしています。お客様のもとに定期的に交換に伺い、回収した商品は洗濯工場ですべて洗浄、きれいな状態に生まれ変わります。また、リースキンのフランチャイズ本部として、環境に配慮した商品開発にも力をいれています。



ネクサージ

日本の手術用リネンは、衛生面の問題からそのほとんどが使い捨てとなっています。そこで、血液や体液が浸透しない特殊素材を用いた手術着と、高度な滅菌技術によってリユースを可能にしたのが当社の「ネクサージ」です。専用工場での洗濯、検品、滅菌処理を行い、医療従事者が安心して使用できる高品質な製品をお届けしています。



Focus 2

商品を再生する工程における 環境負荷低減の取り組み

回収したレンタル商品は、自社の洗濯工場やメンテナンスセンターできれいに、安心して使用していただける状態に再生して、次のお客様のもとにお届けしています。

レンタルビジネスに不可欠な「商品を再生する工程」でも、トーカイグループはさまざまな環境負荷低減に取り組んでいます。

連続式洗濯機

洗浄工程は、節水効果の高い大型の「連続式洗濯機」を導入しています。長年蓄積してきた洗濯技術を活かし、水温、洗浄時間、洗剤量など最適な洗濯方法によってリネン類へのダメージ



を最小限に抑え、少しでも長く使い続けることができるように改善を重ねています。

最新の省エネ設備



「エネルギー管理システム」の導入により、使用電力量のピークカットや節電対策を効果的に実施。また、電気を使わない「井水式ユニットクーラー」によって使用電力を大幅削減するとともに、温度上昇した井戸水は洗濯水に活用してエネルギー使用量の削減も図っています。

洗濯排水熱交換器

使用済みの洗濯水の排熱を回収し、新たに投入する洗濯水の加熱に再利用することで、エネルギー使用量の削減につなげています。

※病院のリネン類やホテルのタオル等は、厚生労働省の指導により、洗浄工程において「80℃の熱水で10分以上の消毒」を行わなければなりません。



排水リサイクル

洗濯排水は、熱交換だけでなく浄化処理後に洗濯水として再利用しています。排水リサイクルにより工場内の水を有効活用することで、水資源の消費量削減につなげています。



ガス式乾燥機・高効率ボイラー

熱効率が低いガス直火式の乾燥機を導入しています。燃料を従来の重油から環境負荷が小さい天然ガスに転換するとともに、高効率ボイラーを導入しCO₂排出量を大幅に削減しています。



中古資材の活用



古くなった布団は仕立て直しを行い、新品同様に再生して繰り返しレンタルしています。また、車いすなどの介護用品は分解して再組立てを行い、パーツ単位で使用できなくなるまで活用することで、無駄な廃棄を徹底的に減らしています。

仕上設備

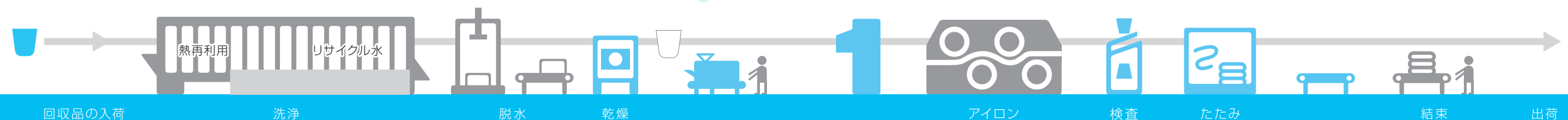
脱水・乾燥工程で絡まり合ったリネン類をほぐす「自動さばき装置」や、最終乾燥を行うロールアイロナーへの「投入機」、リネン類の種類を自動で判別してたたむ「たたみ機」など、生産性向上によるCO₂排出削減に加えて、作業者の負担軽減にもつながっています。



太陽光発電



グループ会社のメガソーラー発電所および自社工場等の屋根上発電設備によって、クリーンな再生可能エネルギーを創出しています。



トーカイグループのマテリアリティとSDGsに対する主な取り組み

トーカイグループが中長期的にありたい姿として掲げた「3つの宣言」をもとに、持続可能な社会の実現に向けて私たちが取り組むべき社会課題（マテリアリティ）を「環境」「健康」「社会」の3つの領域で設定しています。

これらの社会課題の解決に向けた各領域における主な取り組みとその実績については、次のページから紹介しています。

トーカイグループ3つの宣言

	環境分野 創業以来の基幹事業であるレンタルビジネスを通じて、廃棄物の削減、循環型社会の実現に貢献します。 関連するSDGs 6 7 12 13 14	マテリアリティ 主な取り組み サーキュラー・エコノミーの推進 ● レンタル商品の拡販を通じて、使い捨てにより発生する廃棄物の削減につなげる ● レンタル資材のリユースやリデュースにより、廃棄物を削減する 脱炭素社会の実現 ● 洗濯工場の燃料原単位改善によりCO₂排出量を削減する ● 太陽光発電によりクリーンエネルギーを創出する 水資源の有効活用 ● 洗濯工場において、洗濯排水のリサイクルを通じて水資源の消費量を削減する 廃棄物の削減 ● 給食事業におけるフードロスの削減を通じて、食料資源の消費を抑えるとともに、廃棄物を削減する ● ペーパーレス化により一般廃棄物を削減する
	健康分野 超高齢社会における医療介護の健全な発展に貢献します。 関連するSDGs 3	マテリアリティ 主な取り組み 高齢者の自立支援 ● 介護用品のレンタルを通じて高齢者の自立を支援し、健康寿命の延伸につなげる 医療アクセス機会の拡大 ● 在宅患者や施設入居者に対する薬の提供や服薬指導、オンライン服薬指導などにより、さまざまな状況に応じた医療の提供に努める
	社会分野 グループ全従業員が笑顔で、たくさんのありがとうに囲まれた会社を目指します。 関連するSDGs 5 8	マテリアリティ 主な取り組み ダイバーシティ経営の推進 ● 子育て支援を中心に多様な働き方への対応を進めることで、誰もが輝ける職場づくりに努める ● 管理職に占める女性の割合を高めていくことで、多様性を活かした組織づくりにつなげる ● 障がい者が働きやすい職場づくりと就業機会の確保

環境分野に関する取り組み



世界的に地球環境問題への対応が求められるなか、環境への取り組みはトーカイグループにおいても経営の重要課題の一つと位置づけています。

トーカイグループでは、創業当初よりレンタルビジネスを中心とした事業活動を通じて、限りある資源を有効に活用し、環境負荷低減に取り組んでまいりました。今後も引き続きこの事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

関連するSDGs



サーキュラー・エコノミーの推進

🔧 レンタルビジネスを通じた廃棄物の削減

トーカイグループがレンタルで提供する商品が使い捨ての商品で賄われていたと仮定した場合、レンタルによる廃棄物削減効果は年間で推計約6,100トン※。今後もレンタル商品の拡販を通じて、使い捨てにより発生する廃棄物の削減につなげてまいります。

※2020年度の売上実績より各アイテム別に条件設定のもと自社で推計したものであり、実際に削減した廃棄物の量とは異なります。

🔧 中古資材の活用・再生による廃棄物の削減

レンタルで長年使用され古くなった布団を、仕立て直して再生させるなど、レンタル資材をリユース・リデュースすることで資源を有効活用し廃棄物を削減しています。



脱炭素社会の実現

🔧 洗濯工場の燃料原単位改善によるCO₂排出削減

継続的な省エネ・生産性向上の取り組みによって燃料原単位を改善し、CO₂排出量の削減につなげています。

🔧 クリーンエネルギーの創出

脱炭素社会の実現に貢献するため、太陽光発電によるクリーンエネルギーの創出を行っています。トーカイグループにおける年間の太陽光発電量は約10,525千kWhに及び、トーカイ単体の使用電力量1年分以上に相当します。



水資源の有効活用

🔧 排水リサイクルによる消費量削減

使用済み洗濯水の排熱利用や、浄化後に再び洗濯水として利用するなど、排水リサイクルを通じて水資源の消費量削減に努めています。

※上記工場における各種取り組みの詳細はP7～8をご参照ください。

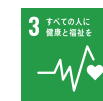
健康分野に関する取り組み



団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目前に控え、超高齢社会における医療・介護サービスのより一層の充実と提供体制の変革が求められています。

当社グループは、ヘルスケア分野で幅広い事業を展開する事業者として、これまで医療と介護の社会インフラを支えるサービスを提供してまいりました。今後も事業環境の変化に適応し、お客様やご利用者様など関わるすべての人々にとって安全・安心なサービスを提供し続けることで社会的な責任を果たしてまいります。

関連するSDGs



高齢者の自立支援

🔧 介護用品を通じて在宅生活をサポート

介護保険制度開始前から培ってきた経験と70か所以上の営業拠点から集まる情報や対応力を活かし、介護用品のレンタル・販売、住宅改修のサービスを通じて、高齢者が自分らしい生活を送るための自立支援を行っています。高齢者の要介護度の進行を抑え、健康寿命の延伸につなげるとともに、介護をする方、される方双方の負担軽減をサポートしています。

また、病院関連事業を通じて築いた関係性を活かして、医療機関の退院窓口へのアプローチを強化し、患者様の退院後の在宅生活における環境整備をサポートすることで、安心・安全な暮らしを支え続けます。

Voice

「できなかったことができるようになった」とご利用者様が素敵な笑顔を浮かべられた瞬間に大きな喜びを感じます。福祉用具ひとつで生活が大きく変化することもあるため、福祉用具の持つ力とご利用者のニーズを掛け合わせ、その方の望む生活にできる限り近づけるよう、ご利用者様に寄り添った提案を心掛けています。



株式会社トーカイ
シルバー事業本部
中部第二営業部
名古屋営業課
黒田 結子さん

医療アクセス機会の拡大

🔧 在宅・オンライン服薬指導

当社グループのたんぼ薬局では、患者様一人ひとりの症状や生活環境に応じた医療の提供に努めています。オンライン診療を受けた患者様に対して、薬剤師がモニターを通して薬の説明や指導を行うことができる体制を全店舗で整えており、患者様は自宅にしながら服用指導を受けられ、配送で薬を受け取ることができます。自力で薬局へ来られない患者様には、薬剤師がご自宅や入居する介護施設を訪問して薬の提供や服薬指導を行う「在宅調剤」の取り組みも推進しており、地域の医療を支える「かかりつけ薬局」として誰もが必要な時に、必要な医療を受けられる体制を整備しています。

Voice

当社の社訓は「前進と奉仕」です。患者様との意思疎通の場が、薬局の待合室からご自宅やモニター越しへと広がりを見せるなかで、当社においてもサービスの拡大に柔軟に対応（前進）しています。また、医療機関と連携を図ることで地域医療と患者様をつなぎ（奉仕）、患者様一人ひとりに寄り添った医療提供を行ってまいります。



たんぼ薬局株式会社
武庫之荘店
薬局長
服部 孝弘さん

社会分野に 関する取り組み



トーカイグループは、従業員を企業の成長を担う「人材」と捉え、従業員一人ひとりが活躍できる会社づくりを推進しています。女性の管理職登用や障がいのある方が働きやすい職場環境の整備、働き方改革など、誰もが活躍でき、多様性が尊重される会社の実現に取り組んでまいります。そして、トーカイグループで働くすべての人が笑顔で、たくさんのありがとうに囲まれた会社を目指します。

関連するSDGs



ダイバーシティ経営の推進

女性が活躍できる職場づくり

トーカイは、女性が働きやすく活躍できる職場をつくるために、妊娠～出産～育児期の子育て世代への支援策を充実させています。育児休業からの早期復職者を対象に保育手当を拡充することで、早期復職による本人のキャリア継続をサポートする仕組みを導入するとともに、復職後も各種研修機会やeラーニング等によるキャリアアップの支援を行っています。また、子育てに積極的に関わる従業員のキャリアと人生を応援する管理職“イクボス”の育成により、各職場において仕事と家庭の両立や男性の育児休業取得を推進し、社内のみならず多くの女性が社会で活躍できる環境づくりに努めてまいります。

POINT



株式会社トーカイ、たんぽぽ薬局株式会社、株式会社トーカイ（四国）において仕事と子育ての両立支援に取り組む企業として「くるみん認定」を取得しています。また、たんぽぽ薬局株式会社では、女性の活躍推進が認められ「えるぼし認定」の最高位である3つ星を取得しています。

障がい者雇用

トーカイグループは、サン・シング東海を中心に、「障がいを持つ人も持たない人も共に働き、生きがいを見出すことが出来る社会づくり」をコンセプトに障がい者雇用を推進してきました。こうした考えのもと、サン・シング東海においては、個々人の特性に合わせた対応で障がい者の雇用の場をさらに広げべく努めています。医療や介護の現場で快適な空間をサポートする事業を展開するトーカイグループだからこそできる取り組みにより、多様性を活かした企業の成長を実現させてまいります。

Voice

当社は、障がいのある従業員が得意分野で力を発揮し、働く喜びを実感してもらえるよう個々の能力を見極めて仕事を任せるようにしています。従業員同士が積極的にコミュニケーションをとり、「この会社に入社してよかった」と思えるような笑顔が溢れるアットホームな職場環境づくりに努めています。



株式会社
サン・シング東海
課長(認定ジョブコーチ)
嵯峨崎 泰輔さん

取り組みの数値目標

評価項目	評価基準	2025年3月期(目標)
廃棄物削減効果 ^{※1}	2020年度削減効果 約6,100t	7,500t
燃料原単位 ^{※2}	2013年度実績 156.4ℓ/t	137.5ℓ/t
排水リサイクル率 ^{※3}	2020年度実績 10.2%	20%
太陽光発電量 ^{※4}	2020年度実績 10,525千kWh	11,125千kWh

※1 ディスポーザブルが主流となっている商品について、当社グループのリユース商品の拡販により廃棄物の削減に貢献したと考えられる量を自社推計にて算出。
※2 株式会社トーカイ及び株式会社トーカイ(四国)の洗濯工場において、洗濯物1トンを生産するために必要な燃料(ガス・重油など)の量を原油換算にて算出。
※3 株式会社トーカイ及び株式会社トーカイ(四国)、株式会社同仁社の洗濯工場における排水リサイクル率。排水リサイクル量÷総排水量にて算出。
※4 工場などの屋根上発電設備及びグループ会社の発電所における発電量の合計。

サステナビリティ・ハイライト (2020年度)

分野	指標	指標の範囲	2020年度実績 (2021年3月期末時点)
環境	CO ₂ 換算排出量	単体	16,376t
	工場の燃料原単位	トーカイおよびトーカイ(四国)	144.97ℓ/t
	工場の総給水量	連結 ^{※5}	800,898㎡
	工場の水原単位	連結 ^{※5}	13.8㎡/t
	太陽光発電量	連結	10,525千kWh
健康	調剤薬局の店舗数	連結	138店舗
	かかりつけ薬剤師が在籍する店舗数	連結	107店舗
	在宅調剤に係る技術料加算実績のある店舗数	連結	123店舗
	オンライン服薬指導の実績(2020年9月開始)	連結	40回
	薬剤師の人数	連結	714人
	かかりつけ薬剤師人数	連結	212人
	福祉用具専門相談員の人数	連結	約950人
	福祉用具選定士の人数	連結	約270人
	福祉住環境コーディネーター2級の有資格者数	連結	約550人
社会	管理栄養士の人数	連結	77人
	栄養士の人数	連結	125人
	調理師の人数	連結	444人
	女性の管理職比率(2021年4月1日時点)	単体	6.6%
	産休・育児休業取得率	単体	94.6%
	男性の育児休業取得率	単体	41.7%
	産休・育児取得後の復帰率	単体	100%
	有給休暇取得率	単体	76.4%
	障がい者雇用率	※6	2.21%

※5 同仁社の一部工場は除く。
※6 単体、特例子会社であるサン・シング東海、およびグループ適用5社の合算。